

鉄樹

これらの珍しい鉄樹は、平安時代（794～1185）に作られ、地元の鍛冶である舞草鍛冶によって鑄造されたと考えられています。 学者によると、それらが毛越寺の子院である千手院の装飾として受け継がれ、奥州藤原氏三代目の秀衡（1122?–1187）の住居の部屋を装飾したと考えられています。